

	時代の特徴	歴史的事件等	国家の正当性	法の支配&人権の拡大
中世	・欧州各国の王が【絶対主義】の実現、即ち【絶対王政】の確立を目指す時代	(英)ジョン欠地王がやらかす (日)室町時代以前		(英)【マグナ・カルタ】成立 (英)【ブラクトン】曰く「国王と雖も神と法の下にある」
近世前半		(英)エリザベス処女王の治世 (欧州全域)三十年戦争 (英)【清教徒革命】発生	(仏)法学者ボダンが【王権神授説】を提唱 (英) [『家父長制論』] の【フィルマー】が【王権神授説】を提唱	(英)【コーク】起草の【権利請願】が出る
絶対主義の時代	・先進国と言え【絶対王政】だよね…という時代 ・人権概念が本格的に発生した時代(中でも重視されたのは【自由権】)	(英)【清教徒革命】終了 (英)【名誉革命】(欧州全域)七年戦争 (日)江戸時代前半	(仏)神学者【ボシユエ】が【王権神授説】を提唱 (英)【ホッブズ】著【『リヴァイアサン』】出版 (英)【ロック】著【『統治二論』】出版 (仏)【ルソー】著【『社会契約論』】【『人間不平等起源論』】出版	(英)【権利章典】制定
革命の時代	・民主制と人権が欧米各国に広がっていく、【資本家】主役の時代 ・人権の中でも【自由権】が重視された時代 ・【夜警国家】が理想とされた時代	(英米)【アメリカ独立戦争】 (仏)【フランス革命】 (日)江戸時代後半		(米)【トマス・ペイン】の【コモン・センス】発行 (米)【バージニア権利章典】起草 (米)【アメリカ独立宣言】発出 (仏)【フランス人権宣言】発出 (英)【チャーチスト運動】開始
資本の時代	・民主制と人権が欧米各国に広がった後、【資本家】主役の時代 ・人権の中でも【自由権】だけでなく【参政権】が要求された時代	(日)幕末～明治維新期	(米)リンカーンの【人民の、人民による、人民のための】政治演説	(英)【チャーチスト運動】終了
帝国の時代	・【夜警国家】が理想とされた時代	(日)日清・日露戦争期		
世界大戦期	・人権の中でも【社会権】が重視されていく時代 ・【福祉国家】が理想とされていく時代	第一次世界大戦 ロシア革命 第二次世界大戦		(独)【ヴァイマル憲法】制定 (米)【四つの自由】発表
冷戦期	・人権の中でも【社会権】が重視される時代 ・【福祉国家】が理想とされる時代	(南ア)【アパルトヘイト】 朝鮮戦争 キューバ危機		(国連)【世界人権宣言】発出 (国連)【世界人権規約】成立
冷戦末期以降	・1980年代以降、人権の中でも再び【自由権】が重視される、【新自由主義】の時代へ	冷戦終結 ソ連崩壊 911テロ		